

統廃合に関する主な意見・要望とこれに対する対応等

保護者対象アンケート調査

対 象 者	対象者数	回答者数	回収率
富士見小学校 5・6 年生保護者	259 人	71 人	27 %
狭山台小学校 5・6 年生保護者	191 人	68 人	36 %
新狭山小学校 5・6 年生保護者	15 人	9 人	60 %
東中学校 1 年生保護者	129 人	55 人	43 %
中央中学校 1 年生保護者	148 人	15 人	10 %
狭山台中学校 1 年生保護者	112 人	31 人	28 %
合 計	854 人	249 人	29 %

通学について

No.	主 な 意 見 ・ 要 望	対 応 等
1	狭山台中学校で自転車通学を認めてほしい	自転車通学の許可については、距離だけでなく安全面等も総合的に判断したうえで、学校で決めることとなります。
2	自転車通学が認められた場合でも、雪や雨の日などはバス通学を認めてほしい	通学の方法については、各学校の判断によります。
3	暗い箇所に街灯を設置してほしい	防犯灯は、自治会で管理をしていることから、学校や保護者の要望をもって、関係自治会と調整することとなります。
4	入間川の雑木林を通る狭山台中学校の通学路は、暗くて危険だ	統合後の通学路は、地域に精通した P T A の校外委員と安全教育を担当する先生との協議を踏まえ、最終的には学校長の判断により決定します。
5	狭山台のけやき通りを渡る際は、信号のある交差点を渡らせた方が安全だ	
6	学校を選べる特別許可地区の場合、兄弟姉妹が別々の中学校に入学することを許可してほしい	兄弟姉妹で進学希望の中学校が異なる場合、別々の中学校に入学することは可能です。

制服等について

No.	主 な 意 見 ・ 要 望	対 応 等
7	狭山台中学校の制服はどうなるのか	
8	狭山台中学校は創立 40 周年を迎えることもあり、統合を機に制服のデザインを一新してほしい	狭山台中学校の制服の扱いについては、東中学校と狭山台中学校の校長、教頭及び教務主任並びに P T A 正・副会長を構成員とする制服検討委員会において、現在検討を行っています。
9	制服の色は東中学校のような紺系がいい	
10	茶色で定着している現在の狭山台中学校のデザインのままがいい	
11	統廃合後は、体育着やジャージ、上履きなどはどうなるのか	学校間の協議により決定します。
12	東中学校で現在使っている制服やジャージなどは、経済的な負担がかからないように、学校が変わってもそのまま使えるようにしてほしい	基本的には入学時に購入した制服等を卒業するまで着用することになりますので、統廃合により学校が変わった場合でも、統合先の学校の制服を新たに購入する必要はありません。
13	平成 27 年 4 月に東中学校に入学する生徒は、どの制服を買えばいいのか	平成 27 年 4 月に東中学校に入学する生徒は、東中学校の指定の制服や体育着を購入し、そのまま統合先の中学校で使用することになります。
14	身体に負担がかからないように、スクールバッグをリュック型に変えるか、市販のリュックサックの使用を認めてほしい	学校指定用品の取扱いは、各学校の判断によります。

施設整備について

No.	主 な 意 見 ・ 要 望	対 応 等
15	狭山台中学校のトイレを明るくきれいにしてほしい	統合に伴い、新たに普通教室の整備を予定している南校舎のトイレについては、全面的な改修を計画しています。
16	狭山台中学校に洋式トイレを増やしてほしい	統合を機に実施するトイレ改修のなかで、一部洋式化を計画しています。
17	狭山台中学校に自転車置き場を増やしてほしい	狭山台中学校で自転車通学を許可することになった場合は、必要な規模の駐輪場を整備します。
18	中央中学校の教室は足りるのか	中央中学校については、現在の12教室から生徒数の増加に対応するため、15教室を確保するための改修工事を行います。

その他

No.	主 な 意 見 ・ 要 望	対 応 等
19	学校運営は狭山台中学校と東中学校のお互いの良いところを合わせてほしい	教育活動のより一層の充実に向けて、学校運営にあたっては、関係する学校のこれまでの取組を生かしていくことなどを踏まえ、学校間で協議した内容を基に、最終的には統合先の学校長が判断します。
20	中学3年生は受験を控えているので、統廃合により、成績や内申の面で不利にならないようにしてほしい	統廃合に限らず、教員は人事異動により毎年数名ずつ交替があり、その際には入念に引き継ぎを行っていますので、統廃合によって内申書や高校受験の面で不利が生じることはありません。
21	東中学校にある部活動は全て狭山台中学校につくってほしい	部活動の設置については、顧問の先生の確保等の諸条件を踏まえ、学校で判断されるものですが、東中学校にあって狭山台中学校にない部活動の設置については、最優先に考えます。
22	東中学校の先生も一緒に狭山台中学校に異動させてほしい	教員人事は埼玉県の異動方針に従って行うため、東中学校に配属されていた教員のうち何名が狭山台中学校に配属されるかはわかりませんが、原則にのっとり、可能な限り配慮します。
23	狭山台中学校は生徒の人数が増えるので、副担任を1クラス1人つけてほしい	副担任の各クラスへの配置は考えておりませんが、現在配置している副担任のほか、統合当初は、市費採用の臨時教員を増やすなどして、生徒指導のより一層の徹底を図ります。
24	心のケアは万全の対応をお願いしたい	事前交流などを通して、統廃合に対する生徒の不安の払拭に努めるとともに、統合当初は、市費採用の臨時教員の増員や相談員の人数又は配置回数を増やすなどして、生徒の相談体制に遺漏のないように対応します。
25	統合する前から、お互いの学校の生徒がコミュニケーションを取り合える機会があれば、統合後も安心して過ごせるのではないかな	学校間の協議を計画的に行う中で、生徒同士の事前交流の場を設けるなどして、円滑な統合に向けた準備を進めます。
26	統合後のクラス編成では、東中学校と狭山台中学校の生徒が混ざることになるのか	両校の生徒が混じりあう形でのクラス編成が基本になります。
27	東中学校でPTAの役員を経験した人は、統合先の中学校のPTAでは役員を免除してほしい	PTAで協議することになります。
28	東中学校の跡地は、子供が気兼ねなくボール遊びなどができるグラウンドや遊具、林を兼ね備えた公園にしてほしい	東中学校の跡地の活用方法については、市の全庁的な視点から今後検討していきます。